

各位

2022年6月20日
碧海信信用金庫

2022年3月期（令和3年度）決算発表

碧海信信用金庫（理事長：山内 正幸）は、2022年3月期（令和3年度）の決算について、以下のとおり業績の要約を公表いたします。

記

1. 主要業績数値

		2022年3月期 (当期)	2021年3月期 (前期)	増減
預貸金状況	預金積金残高	2,236,754百万円	2,227,555百万円	+9,199百万円 (+0.41%)
	貸出金残高	1,149,278百万円	1,128,306百万円	+20,972百万円 (+1.85%)
損益状況	業務純益	6,788百万円	4,631百万円	+2,157百万円
	経常利益	6,782百万円	4,672百万円	+2,110百万円
	当期純利益	5,013百万円	3,576百万円	+1,437百万円
健全性	純資産額	178,579百万円	184,732百万円	△6,152百万円 (△3.33%)
	自己資本比率(単体)	15.53%	15.32%	+0.21ポイント
	不良債権比率	2.53%	2.69%	△0.16ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。小数点第3位を四捨五入して表示。

2. 業績コメント

〔預貸金状況〕

○預金積金残高は、普通預金などの増加により、前期比9,199百万円増加の2,236,754百万円となりました。貸出金残高は、住宅ローンや事業者向けの貸出が増加し、前期比20,972百万円増加の1,149,278百万円となりました。

〔損益状況〕

○貸出金利息や役務取引等利益などの増加、経費の削減などにより、業務純益 6,788 百万円、経常利益 6,782 百万円、当期純利益 5,013 百万円となりました。

〔健全性〕

○自己資本比率（単体）は、前期比 0.21 ポイント上昇の 15.53%となりました。信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っており、当金庫の安全性は極めて高い状態にあります。

○不良債権比率（金融再生法ベース）は、前期比 0.16 ポイント低下の 2.53%となりました。

以 上